

平成29年度 放課後等デイサービス自己評価結果

はあとキッズ小郡南

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4		利用者の増加等により、手狭になってきました。活動内容に合わせて、机などを部屋の隅に移してスペースを確保しています。このため、移転を検討中です。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2		人員は確保されていますが、職員が休暇をとると、それなりに活動内容を変えるなど工夫しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			バリアフリー化されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			毎日のミーティングでは、その日や前日のことだけでなく、中長期的な目標設定と振り返りなども意識しながら、実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3		アンケートを実施し、その結果は、保護者会で発表し、意見交換を行いました。今後も保護者の意向を聞きながら、業務に活かして行きます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページで公表する予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	3	第三者による外部評価は、法人本部において、各事業所の開業後の経過年数等を踏まえ、順次、受審申込みが行われています。当事業所の受審は、来年度以降になるものと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			毎月、定例研修会が開催されています。職員毎に、受けた研修に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			保護者面談や担当者会議も参考に、保護者の要望等も踏まえて、課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		事業所が作成したアセスメントシートを使用しています。知的、行動、状態などの項目から、何ができていないのかなどの把握に努め、支援計画の参考にしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			活動プログラムは、毎週、全員で協議の上、決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			各自がアイデアを出し合って固定化しないように努めています。それぞれの活動の目的を明確にするように心掛けています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			課題は、平日、休日、長期休暇別に応じて、児童の障害特性等を考慮しながら、柔軟に実施しています。特に、様々な体験を通しての支援に力を入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個別活動と集団活動を組み合わせています。平日の放課後では、特に高学年は利用時間が短い日もあり、どちらかになる場合もありますが、集中してできるように努めています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎朝のミーティングで1日の流れ、支援の内容や役割分担を確認しています。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			送迎等があるので、振り返りは、翌朝に行い、情報交換を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			利用者ひとり1人の支援の記録を入力していますが、単純にその日の様子を綴ったものになりがちです。しかし、読み返してみると、成長が分かります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			原則、6ヶ月毎に見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5			ガイドラインも参考にしながら、様々な活動に取り組んでいます。特に、「自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもてるような豊かな感性を培う」も重点にしたいと思います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			担当者会議は、その児童の状況に精通したふさわしい職員が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			学校とは、日頃からコミュニケーションが図られています。対象児童によって異なりますが、その日の様子や近況を伝え合っています。行事予定等も情報共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5			保護者を通じて、主治医の対応等を聞いています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			必要に応じて、行うことにしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	2	まだ、障害福祉サービスに移行する児童はありませんが、この先、そうした状況になれば、情報提供は必要になると思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	1	必要に応じて、相談支援事業所、他の放課後等デイサービス事業所との情報交換を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2		地域のイベントや行事に参加するなど、交流の機会を設けるように努めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1		地域自立支援協議会の子ども部会に管理者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			連絡帳、送迎、親子行事、個人面談、保護者会など、伝え合う機会は多くあります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	3	殆ど行っていません。まず、ペアレント・トレーニングについて、関連書籍も参考にしながら、職員間で意識、知識の向上を図ります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			主として、利用契約時に説明しています。事業所の理念や活動状況の写真を掲載したおたよりなどで、分かりやすい説明にも努めています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			個人面談や送迎の歳に、しっかりと対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1		運動会など保護者が集う行事を通して、保護者同士の連携を支援しています。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情の対応窓口等の張り紙や重要事項説明書にも明記しています。これまで、大きな苦情はありません。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			写真も多く載せた「おたより」を毎月発行しています。連絡事項は、連絡帳のほか、チラシや案内文を配布しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報の取り扱いについて、職員はよく心得ています。個人情報は、鍵付きロッカーに保管するように努めています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			動線の構造化や絵カードや写真を使っています。保護者とは、送迎時などあらゆる機会を通して、意思の疎通を図れるよう心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5			高齢者とのふれあい行事が企画されています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			5	保護者には、マニュアル自体の周知がされていませんが、感染症の発生情報や対処法などのチラシを配布するなど、必要に応じた対応は行っています。一方、マニュアルを読んだことがない職員が複数いました。このため、今後は、新規職員への研修を行います。また、マニュアルの内容の見直し、改廃も必要です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			定期的実施しています。児童を対象に、消防署の見学学習も行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			法人の定例研修を受けています。その他、外部研修受講者の復命研修を行いました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			拘束が必要な児童は、支援計画に記載し、保護者の同意も得ています。拘束理由や時間を記録しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			5	当所は、アレルギーのある児童は、多くありません。なお、保護者から詳細な情報を得ているので、医師の指示書は求めています。対応については、全職員が熟知しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハットは、毎月、医療安全委員会に報告されます。結果は、職員に供覧しています。